

保存版

知って安心 防災を考える本

大江町

ハザードマップ

- 1 災害に備えて
- 2 大雨・洪水
- 3 土砂災害
- 4 地震
- 5 避難情報発令と避難行動
- 6 関係機関の連絡先・避難所一覧
- 7 ハザードマップの使い方

大きな地図付き

この冊子は、
すぐに取り出せる所に保管し、
災害から命を守るために
日頃から備えましょう。



令和元年 12月 作成

1 家族で防災会議をしよう

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。そんなときでもあわてずに行動できるよう、家族で話し合って災害に備えましょう。



話し合う内容の例

- 自宅付近に危険な場所はないか
→洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等
- 災害が起こったときの身の守り方
- 救急医療品や非常時持出品の準備と保管場所の確認
- 避難所までの経路の確認
- 家族が離ればなれになったときの集合場所と連絡方法の確認

2 わが家の安全対策を確認しよう

安全に感じるわが家でも、災害時に思わぬところが避難や救助の妨げになったり、ケガなどを引き起こす原因になります。下記の項目を例にわが家の安全対策をしてみましょう。

家の中の安全対策



● 家具の転倒を防ぐ

家具の転倒、落下防止のために金具や固定器具で固定しましょう。



● 避難口の確保

出入り口付近には物を置かず、避難口を確保しましょう。



● 重い荷物は床に

高いところに置いた重い荷物は落ちてくると危険なので、床に置きましょう。



● 窓ガラスの対策

飛散防止フィルムを貼るなどして、ガラスの飛散を防止しましょう。

● 火災対策

消火器や住宅用火災報知器の設置と点検を行いましょう。



家の外の安全対策

- アンテナ看板等は補強されているか。
- 家の外壁に亀裂はないか。
- ブロック塀にぐらつきや亀裂はないか。
- 窓枠のがたつきやひび割れはないか。
- プロパンガスボンベは固定されているか。
- 物干しざおや植木鉢、自転車等は風で飛ばされないようになっているか。
- 農業用水路や排水溝の水はけは良いか。



1 注意報・警報の発表基準

大雨注意報

大雨によって災害が起こるおそれがあると予測される場合。

1時間の雨量が40mm以上

大雨警報

大雨によって大きな災害が起こるおそれがあると予測される場合。

1時間の雨量が70mm以上

大雨特別警報

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧が予測される場合。

上記に併せて、洪水注意報、洪水警報を発表

● 記録的短時間大雨情報（山形県の基準：1時間の雨量が100mm）

大雨警報が発表されているときに、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測、または解析したことを発表する情報です。現在の降雨がその地域にとって稀な激しい状況であることを周知するために発表されます。

● 雨の強さと降り方

1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある（恐怖を感じる）

2 過去に大江町を襲った水害

大江町は近年でもたびたび大きな水害が発生しています。大雨による浸水被害が予想される場所を、過去の水害やハザードマップを参考に日頃から把握しておきましょう。



百目木



鹿子沢

● 昭和42年8月29日「羽越水害（うえつすいがい）」

昭和42年8月28日から29日かけて発生した集中豪雨で、主に山形県と新潟県下越地方を中心に大きな被害が発生した。 < 大江町の家屋被害：全壊流出32棟、半壊15棟、床上・床下浸水96棟 >



貫見

● 昭和51年8月6日「8・6水害」



久保

● 平成25年7月18日 豪雨災害



百目木

● 平成26年7月9日 豪雨災害
● 令和元年10月13日 豪雨災害

こんなときは！ 台風が接近している！大雨になりそうだ！

① 情報収集をしましょう。

雨や台風の状況をテレビ・ラジオ・インターネット等で確認し、最新の災害情報を集めましょう。

② 早めに避難しましょう。

集めた情報をもとに避難のタイミングを決めて、早めに安全な場所へ避難を開始しよう。

③ 安全に避難しましょう。

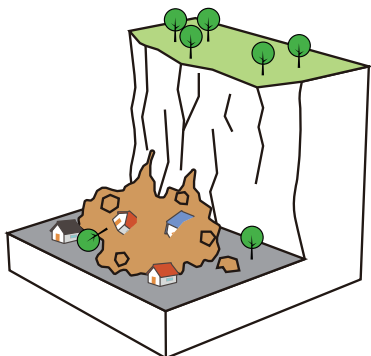
動きやすい服装で2人以上での避難を心がけましょう。浸水している場所は、長い棒で足もと進行方向を確認しながら歩きましょう。



主な情報入手 > ⑤ ページの ④ 災害・気象情報の入手 を見てみよう！

1 土砂災害の種類

がけ崩れ

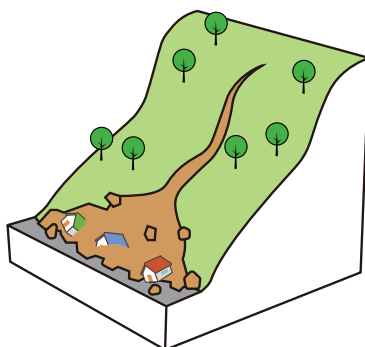


斜面の地表面に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。

前兆現象

- 小石がパラパラ落ちる
- 流水が濁る
- 斜面の湧水・表面流
- 流木・倒木の発生

土石流

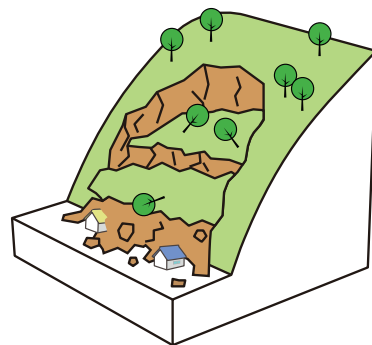


山腹、谷底にある土砂が長雨や集中豪雨によって一気に下流へと押し流される現象です。

前兆現象

- 地鳴り・山鳴り
- 水の溢れ・流水が濁る
- 溪流内の転石がぶつかり合う音

地すべり



斜面の一部または全部が地下水の影響と重力によりゆっくりと斜面下方に移動する現象です。

前兆現象

- 地面にひび割れができる
- 沢や井戸の水が濁る
- 斜面から水が噴き出す
- 池や沼の水かさが急減

2 土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域

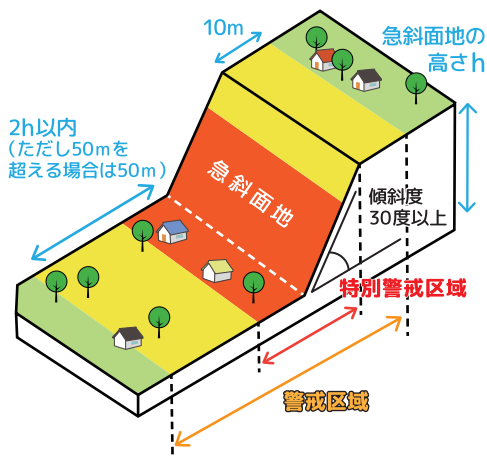
土砂災害警戒区域

土砂災害が発生した場合には、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

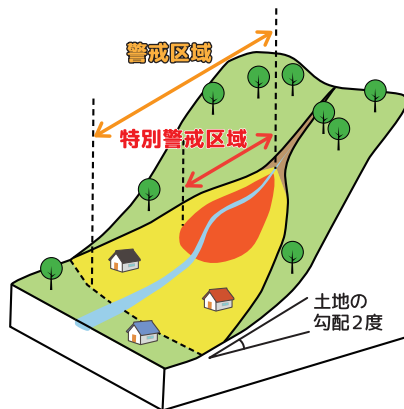
土砂災害特別警戒区域

「土砂災害警戒区域」のうち、土砂災害が発生した場合には、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれのある区域です。

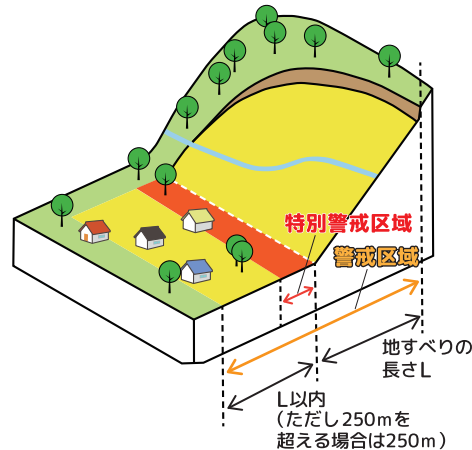
がけ崩れ



土石流



地すべり



土砂災害警戒情報・避難勧告等の情報や前兆現象に注意してください。

土砂災害警戒情報が発表されてときは『いつ土砂災害が起きてもおかしくない』という非常に危険な状態です。警戒区域内または周辺にお住まいの方は、大雨時の避難情報等に注意しましょう。

1 地震が起きたら

周囲の状況に応じて、あわてずに自分の身の安全を確保をしよう！

<p>地震発生</p>	<p>あわてず 自分の身を守る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 家具や窓ガラスから離れる ● 机の下に入る ● 座布団や雑誌等で頭を守る 	
<p>発生から 1~2分</p>	<p>揺れがおさまったら</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 火を止める（出火したら、落ち着いて初期消火） ● 家族の安全を確認する ● 靴をはく（ガラスの破片、散乱している物に注意） ● ドアや窓を開けて出口の確保をする 	
<p>発生から 3分</p>	<p>隣近所に声がけ 出火防止と初期消火</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 余震に注意しながら隣近所の安全を確認、助けあう ● 電気のブレーカーを落とす ● ガスの元栓を閉める ● 消火器等を使って初期消火を行う 	
<p>発生から 5分</p>	<p>ラジオなどで 情報収集</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 正しい災害・避難情報を収集する ● 関係機関、自主防災組織等の情報を確認する ● 家が倒壊する危険があれば避難する 	
<p>発生から 10分 ~3日</p>	<p>協力して消火活動 救助・救護活動を</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 協力して消火活動、救出・救護活動を行う ● 水、食料は蓄えているものでまかなう ● 倒壊した家には入らない ● 常に情報を収集する ● 余震に警戒する 	

2 地震発生時の行動ポイント

● 路上にいた！

- ① 窓ガラス、看板などの落下物から頭をかばん等で保護する。
- ② その場に立ち止まらず空き地や公園等の安全な場所に避難する。

注意

- ブロック塀、自動販売機等に近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

● 車を運転していた！

- ① 徐々にスピードを落とし、緊急車両等が通行できるよう道路の左側に車を止める。
- ② 車のエンジンを切る。
- ③ 揺れがおさまるまで落ち着いて周囲の状況を確認し、カーラジオ等で情報収集をする。

注意

- 避難するときはキーをつけたまま。
- ドアロックをしない。
- 貴重品を持ち出して徒歩で避難をする。

● スーパーにいた！

- ① かばん等で頭を保護し、商品棚やショーウィンドウから離れる。
- ② 係員の指示を聞き、落ち着いた行動をする。



● エレベーターの中にいた！

すべての階のボタンを押し、停止した階で降りる。

注意

- 閉じ込められても無理に脱出しようとせず、非常用ボタンで外部と連絡を取り救助を待つ。
- 避難にエレベーターを使わない。



● 電車等の車内にいた！

- ① つり革や手すりに両手でしっかりとつかまる。
- ② 乗務員の指示を聞き、落ち着いた行動をする。

注意

途中で止まっても非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び出したりしない。

● 海や山にいた！

- 海：津波の危険があるので海岸付近で揺れを感じたら高台に避難する。
- 山：がけ崩れや土石流に注意する。落ち着いて下山する。

注意

海岸には注意報・警報が解除されるまで近づかない。

避難情報発令と避難行動

1 避難情報（水害・土砂災害）の伝え方



5段階の警戒レベルで避難のタイミングをお伝えします。

【警戒レベル3】や**【警戒レベル4】**で、
隣近所で声をかけあって、安全に確実に避難してください！

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル 5	既に 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	災害発生情報 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 〔大江町が発令〕
警戒レベル 4 全員避難	速やかに避難先へ避難 しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 〔大江町が発令〕 避難指示(緊急) ※ ※地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令 〔大江町が発令〕
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者 は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 〔大江町が発令〕
警戒レベル 2	避難に備えて、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 〔気象庁が発表〕
警戒レベル 1	災害への 心構え を高めましょう。	早期注意情報 〔気象庁が発表〕

警戒レベル相当情報（例）

警戒レベル5相当情報
氾濫発生情報 大雨特別警戒 等
警戒レベル4相当情報
氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3相当情報
氾濫警戒情報 洪水警戒 等

（国土交通省、気象庁、県が発表）

※これは、住民の皆さんが自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

もっと詳しく調べてみよう！



内閣府 避難勧告

4 次のように、大江町から避難行動を呼びかけます！

- 緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。（2回）
- こちらは大江町です。□□地区に洪水に関する警戒レベル4、避難勧告を発令しました。
- 川が氾濫するおそれのある水位に到達しました。
- 地区の方は、速やかに全員避難を開始してください。
- 避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所に避難するか屋内の高いところに避難をしてください。

避難勧告の伝達文（例）

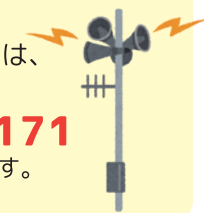
こんなときは！

防災行政無線が聞き取れなかった

天候や風向きによって放送が聞こえにくい場合があります。聞き取れなかった場合には、

電話応答サービス
☎ 0237(83)8171

で放送内容の確認ができます。
※通話料は本人負担となります。



2 避難のポイント



●**速やかに避難する**
避難に関する情報が発令されたら、速やかに避難しましょう。避難の際は警察や消防の指示に従いましょう。



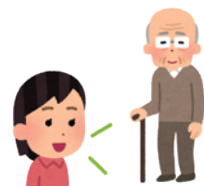
●**ブレーカーはOFF**
避難する前にブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めてから避難しましょう。



●**車での避難は控える**
車での避難は緊急車両の妨げになり、交通渋滞の原因になります。特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。



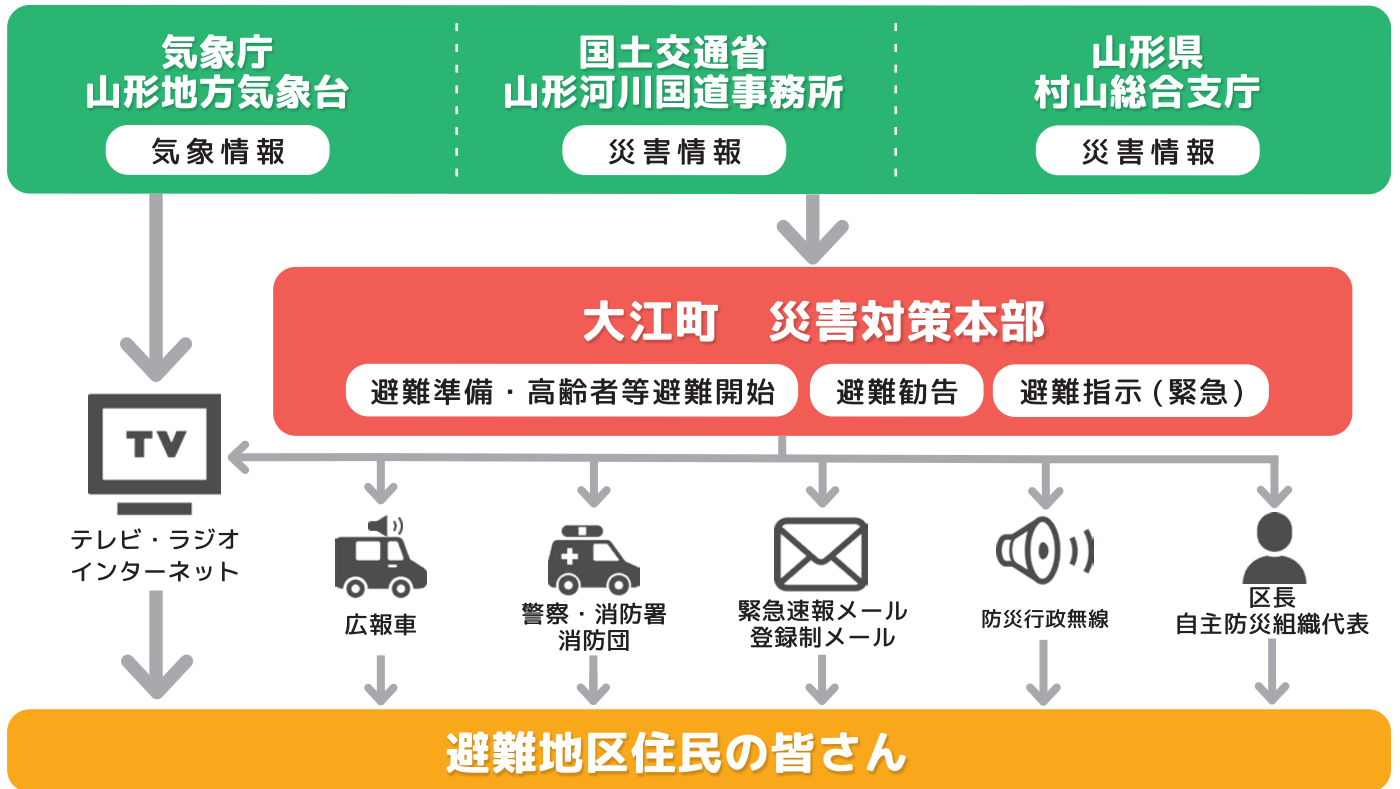
●**SNSで連絡をする**
電話が通じなくなることを想定し、SNS等の連絡手段を複数用意しておきましょう。



●**1人暮らしのお年寄りなどには気配りを**
近所に1人暮らしのお年寄りや体の不自由な方がいる場合は声をかけ合って一緒に避難しましょう。

3 避難情報の伝達経路

災害や避難に関する情報は、テレビやラジオ、インターネット、メール、防災行政無線等で伝達されます。



4 災害・気象情報の入手



メール配信サービス

▶大江町メール配信サービス

大江町が提供する防災や生活、イベント情報などのメール配信システムです。

●登録方法

「oetown-toroku@gp84.asp.cuenote.jp」に空メールを送信してください。QRコードからも登録ができます。



▶緊急速報メール・エリアメール

気象庁が配信する「緊急地震速報」や「特別警報」、町が配信する「災害・避難情報」等を、対象エリアにいる人に配信するサービスです。

(登録不要、受信料無料ですが、受信設定については各携帯電話会社のWebサイトをご確認ください)



テレビ

地上デジタル放送では、リモコンの「d」ボタンを押すと天気予報や災害に関する情報を確認することができます。



インターネット

▶国土交通省 川の防災情報

河川の水位と雨量等が確認できます。



<https://www.river.go.jp/>



▶気象庁

気象情報や防災情報等が確認できます。大雨・洪水の危険度分布も閲覧できます。



<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>



▶大江町ホームページ

町の防災情報等が確認できます。

<http://www.town.oe.yamagata.jp/basis/index.html>



▶山形県 河川・砂防情報

河川の水位情報等が確認できます。

<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/>





災害が起きた時の連絡先

市外局番：0237

施設名	電話番号	所在地
大江町役場	62-2111	大江町大字左沢 882-1
西村山広域行政事務組合 消防署大江分署	62-3120	大江町大字本郷丁 373-1
西村山広域行政事務組合 消防本部	86-2595	寒河江市 大字西根字石川西 300-1
寒河江警察署	83-0110	寒河江市 大字西根上川原 228-1
国土交通省 山形河川国道事務所 寒河江出張所	86-3069	寒河江市 大字島字島東 239
山形県村山総合支庁 西村山地域振興局	86-8700	寒河江市 大字西根字石川西 355



病院の連絡先

市外局番：0237

施設名	電話番号	所在地
寒河江市立病院	86-2101	寒河江市大字寒河江字塩水 80
霞晴堂 白田医院	62-3155	大江町大字左沢 1187
あんどウクリニック	84-6101	寒河江市大字中郷 1042-2
山形県立河北病院	73-3131	河北町谷地字月山堂 111



避難所一覧

市外局番：0237

施設名	電話番号	所在地
左沢小学校	62-3273	大江町大字左沢 816-2
町民ふれあい会館	62-3822	大江町大字左沢 306
体育センター	62-3663	大江町大字本郷丁 373-1
中央公民館	62-3666	大江町大字本郷丁 373-1
大江中学校	62-4155	大江町大字本郷己 605
山形県立左沢高等学校	62-2169	大江町大字藤田字山中 816-3
山形県立楯岡特別支援学校大江校 (旧三郷小学校)	85-0723	大江町大字三郷丙 1403-1
本郷東小学校	62-2821	大江町大字本郷丙 275-2
旧本郷西小学校	—	大江町大字十八才甲 117-1
旧七軒東小学校	83-6020	大江町大字貫見 693-2
西地区体育館	64-2946	大江町大字貫見 468-2
克雪管理センター	64-2007	大江町大字沢口 23-1
山里交流館 (旧七軒西小学校)	64-2507	大江町大字柳川 959-1
寒河江市立柴橋小学校	86-2445	寒河江市大字柴橋 1923

ハザードマップの使い方

① 自宅の位置に印を付けよう

地図面で自宅の位置をチェックして、分かるように印を付けましょう。



② 危険個所を確認しよう

自宅周辺が洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等に指定されていないか、危険な場所がないかを確認しましょう。



※マップに記載されていないが、自分が把握している危険個所があれば書き込んでみよう。

③ 避難ルートを想定しよう

自宅近くの避難所を確認して、避難所までの避難ルートを想定し、書き込んでみましょう。できれば実際に歩いてみよう。



このポケット内には、
**「大江町ハザードマップ
洪水・土砂災害」**が入っています。

非常時持出品・備蓄品(例)

家族構成に合わせて必要なものを備えておきましょう。大きな災害を想定し、食料・飲料水を最低3日分は備蓄しておきましょう。

● 非常食・飲料水

- ミネラルウォーター
- 乾パン・アルファ米・缶詰などの火を使わず保存可能なもの
- 缶切り、栓抜き、水筒など

● 貴重品

- 現金、預金通帳、印鑑
- 運転免許証、健康保険証
- カギ(自宅・車など)
- 権利証書など

● 救急医療品

- 包帯、ばんそうこう、傷薬、消毒液、鎮痛剤、解熱剤など
- 持病がある人は常備薬と処方箋のコピー

● 情報・照明

- 懐中電灯
- 携帯電話
- 携帯ラジオ
- 各端末充電器
- 乾電池

※電池が必要なものは単3電池で統一しておくとし使い回しができる。

● 衛生用品

- 着替え、下着類、タオル
- ティッシュ、ビニール袋、ウェットティッシュ
- トイレットペーパー
- 洗面用品(歯ブラシ、石鹸)
- 生理用品

● その他

- ヘルメットまたは防災頭巾
- 軍手、雨具、レジャーシート
- メモ、筆記用具
- ライター、万能ナイフ
- スリッパ、防寒具、使い捨てカイロ
- 使い捨て食器類、ラップ(割り箸・紙皿・紙コップなど)

わが家の防災メモ

もしもの時に備えて、家族の連絡先・避難所などを書き込みましょう。

名前	電話番号	住所	メモ

避難所

家族が離ればなれになった時の集合場所

電話を利用して安否を「伝える」「確認する」声の伝言板

NTT災害用伝言ダイヤル

災害時、家族などへの連絡にご利用ください。

HPIは携帯電話からもご覧になれます。▶



171

にダイヤルし、音声ガイドに従う

伝言の録音は「1」

伝言の再生は「2」

被災地の方は自宅の電話番号を被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル

(市外局番) **0237** □□-□□□□

伝言を入れる (30秒以内)

伝言を聞く

詳しくは、<https://www.ntt.co.jp/saitai/171.html> をご覧ください。